

第9回日中地域間交流推進セミナー開催報告

8月3日から6日の4日間、山東省において第9回日中地域間交流推進セミナーを開催しました。

今年で第9回を迎える本セミナーは、開催地の山東省において積極的に推進されている文化観光に焦点を当て、「日中地域間文化観光交流の更なる推進に向けて ～地域が有する文化をはじめ資源を活用した観光交流の促進～」をテーマとして開催しました。

今回のセミナーには、日中両国の地方政府関係者等、140名以上の方が参加し、地域が有する資源を活用した観光交流の促進について議論を行っていただきました。

4日午前中の本会議では、山東省の友好都市である山口県の二井知事や、飛騨高山の歴史や伝統、自然等を生かした観光客誘致を行っている岐阜県高山市の土野市長をはじめとする地方政府代表者等に基調講演や事例発表を行っていただき、有識者として立命館アジア太平洋大学の小方名誉教授や北京第二外国语学院旅遊發展研究院の範博士後研究員に講演を行っていただき、多くの貴重な提言をいただきました。



<本会議場の様子>

今回、講演いただいた内容を少し紹介しますと、山口県の二井知事からは、山東省人民政府との交流事業の説明をいただくとともに、地域資源を活用した観光振興の戦略などについて紹介いただきました。また、中国側の基調講演者として山東省人民政府の才副省长からは、豊富な文化観光資源を活用した観光振興の取組みや日本との間で行われてきた交流の状況等について紹介いただきました。その他にも数多くの有益な提言をいただきました。

これらの提言は文化観光分野に限らず、様々な分野の交流を進めていく上で非常に示唆に富んだもので、今回のセミナーで発表された提言を関係機関が一つ一つ実行することによって、日中の地域間の交流、ひいては両国の国民全体の幅のある交流を大きく発展させるものと期待できます。

午後からは、会場を移して「日中観光文化交流展」を開催しました。PR展では、日中合わせて24団体が観光PRポスターを展示したりパンフレットを参加者に配布するなど各地域の魅力をPRしました。

また会場内に設けられたステージ上で、開催にあたっての開幕式を実施しました。開幕式は、主催者を代表して自治体国際化協会の木村理事長、共催者である山東省人民政府を代表して呂副秘書長が挨拶を行い、その後、日中代表者5名によるテープカットと続き、華々しく開幕しました。開幕式終了後、日本の茶道、山東省の華道の実演など日中それぞれの伝統文化芸能の実演が行われた他、日中両国の地方自治体による地域PRが行われ、多くの参加者から喝采を得ました。



＜日中観光文化交流展「開幕式」の様子＞

その他、日中両国の地方自治体関係者が多く集まる本セミナーの開催を利用して、「JETプログラム経験者との意見交換会」、「在中国（香港）自治体事務所会議」など多彩な行事も開催され、本セミナーの開催により参加者の皆様に多様な交流の機会を提供することができました。

私ども自治体国際化協会北京事務所では、今後とも日中地域間交流の促進を図ることによって、両国の友好関係の発展に貢献して参りたいと考えています。